

2015年9月29日(火)

報道関係者各位

ソフトボール部に所属する学生の就職活動状況(2015年8月現在)

株式会社アスリートプランニング

体育会学生の就職支援を行う株式会社アスリートプランニング(本社:東京都新宿区、代表取締役社長:山崎秀人)は、今年度より就職活動時期が変更となったことを受け、ソフトボール部に所属する学生への影響および就職活動状況を明らかにするため、東京都大学ソフトボール連盟と共同で調査を行いました。

<調査概要>

調査対象:東京都ソフトボール連盟に所属する2016年3月卒業予定の学生

有効回答数:74

調査方法:Webアンケート形式

調査期間:2015年8月14日~20日

<調査結果>

- 約6割が内定保持、35.1%が活動終了
- 内定社数は「1社」が59.1%で大半を占める
- 選考中の企業数は「1社」が約7割でトップ、体育会学生全体とは大きな差
- 就職活動を終えたい時期は、学生によって異なる結果に
- 現在、困っていることは「この就職先で本当に良いのか不安」が20.3%でトップ

<本資料について>

本資料に掲載のデータ、図版等の利用やご質問等に関しては、下記までご連絡ください。

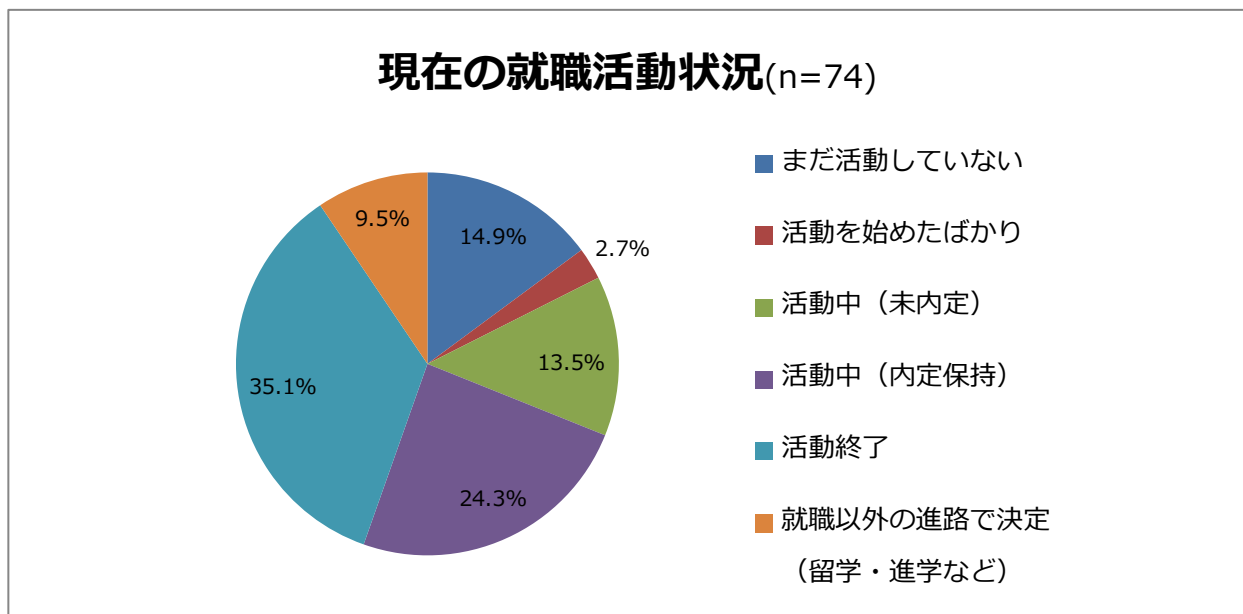
<本件に関するお問い合わせ先>

株式会社アスリートプランニング 広報室 太田 浩之

Tel: 03-5937-8460 Mail: ohta@athlete-p.co.jp

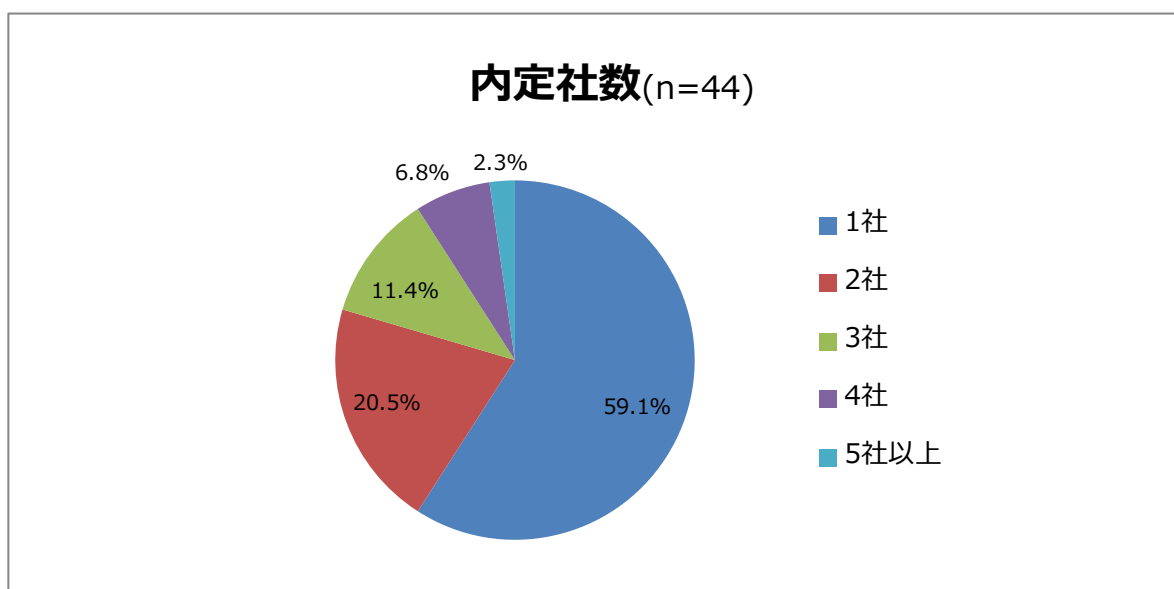
1.約6割が内定保持、35.1%が活動終了

現在の就職活動状況を尋ねたところ、59.5%の学生が内定を保持していることが分かりました。うち、35.1%は内定を承諾し、活動を終了しております。同時期に実施した体育会学生全体のデータ(63%)と比較して、3%ほど低い内定率となっております。また、活動を終了した学生の割合は全体の32%とほぼ同じ結果となりました。



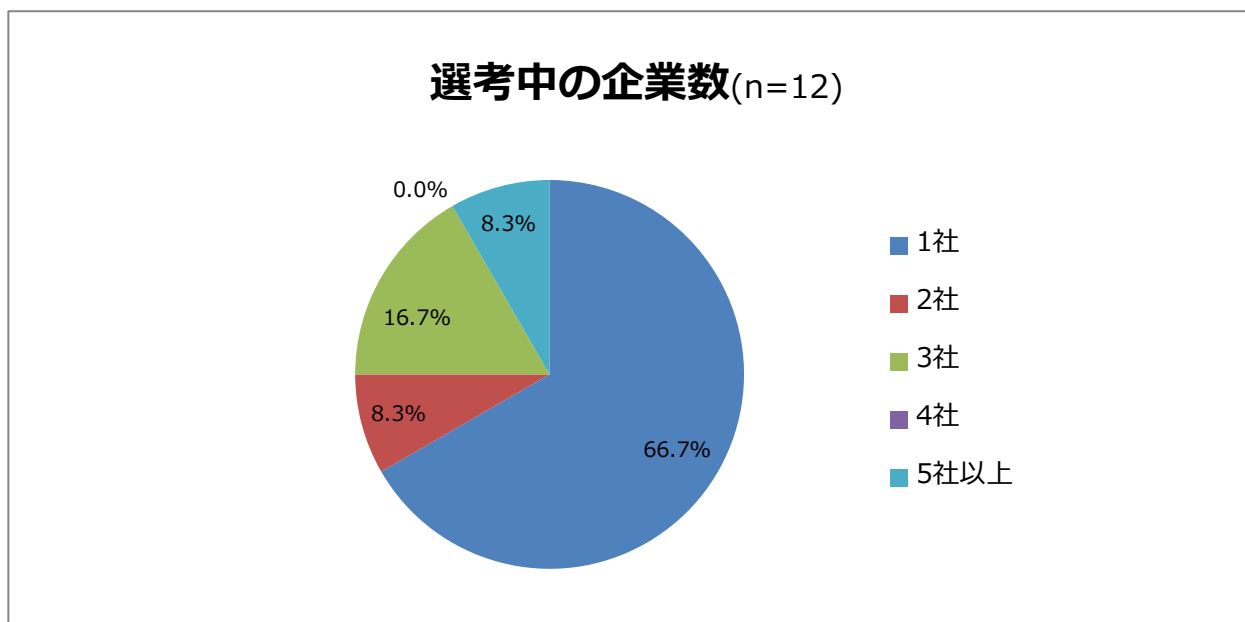
2.内定社数は「1社」が59.1%で大半を占める

内定を持っている学生に社数を尋ねたところ、59.1%の学生が「1社」と回答しています。8月は試合や合宿で就職活動ができないケースが多いため、その前に1つは内定を取っておきたいと考え行動した学生が多いようです。



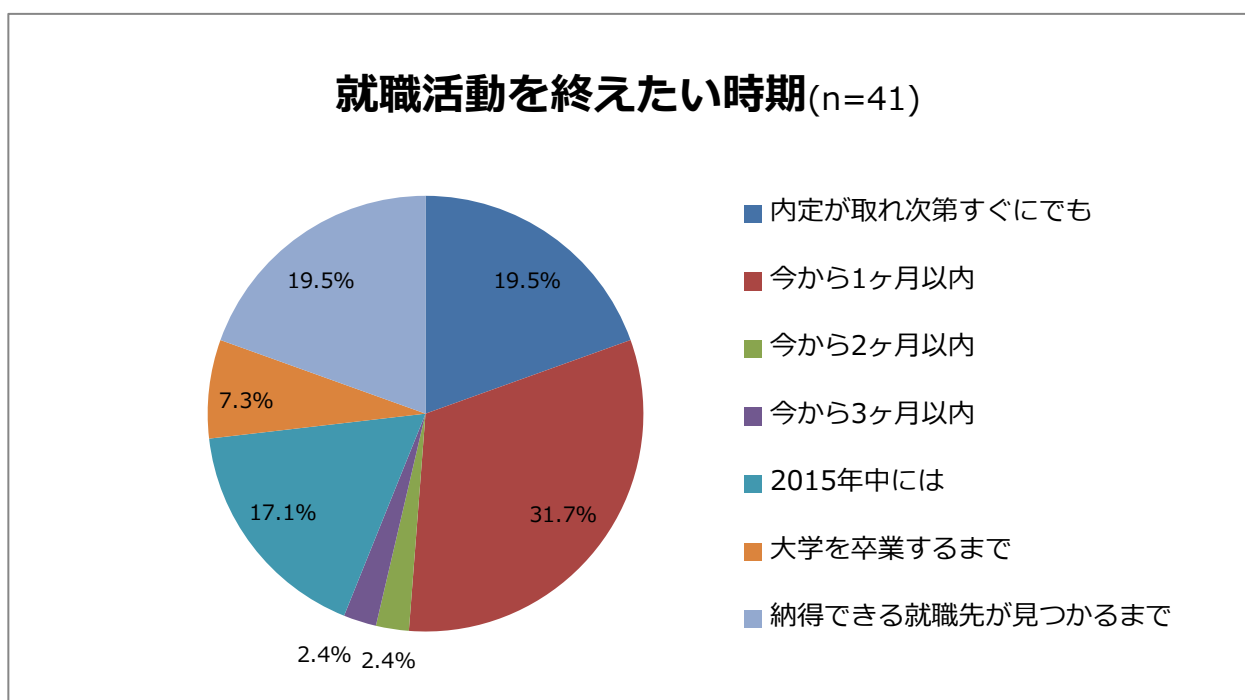
3.選考中の企業数は「1社」が約7割でトップ、体育会学生全体とは大きな差

就職活動中の未内定学生に選考中の企業数を尋ねたところ、「1社」が最も多い回答となりました。積極的に活動している学生がいるものの、同時期に調査を実施した体育会学生全体のデータでは42%が「5社以上」と回答しているため、活動量の差が浮き彫りになっています。



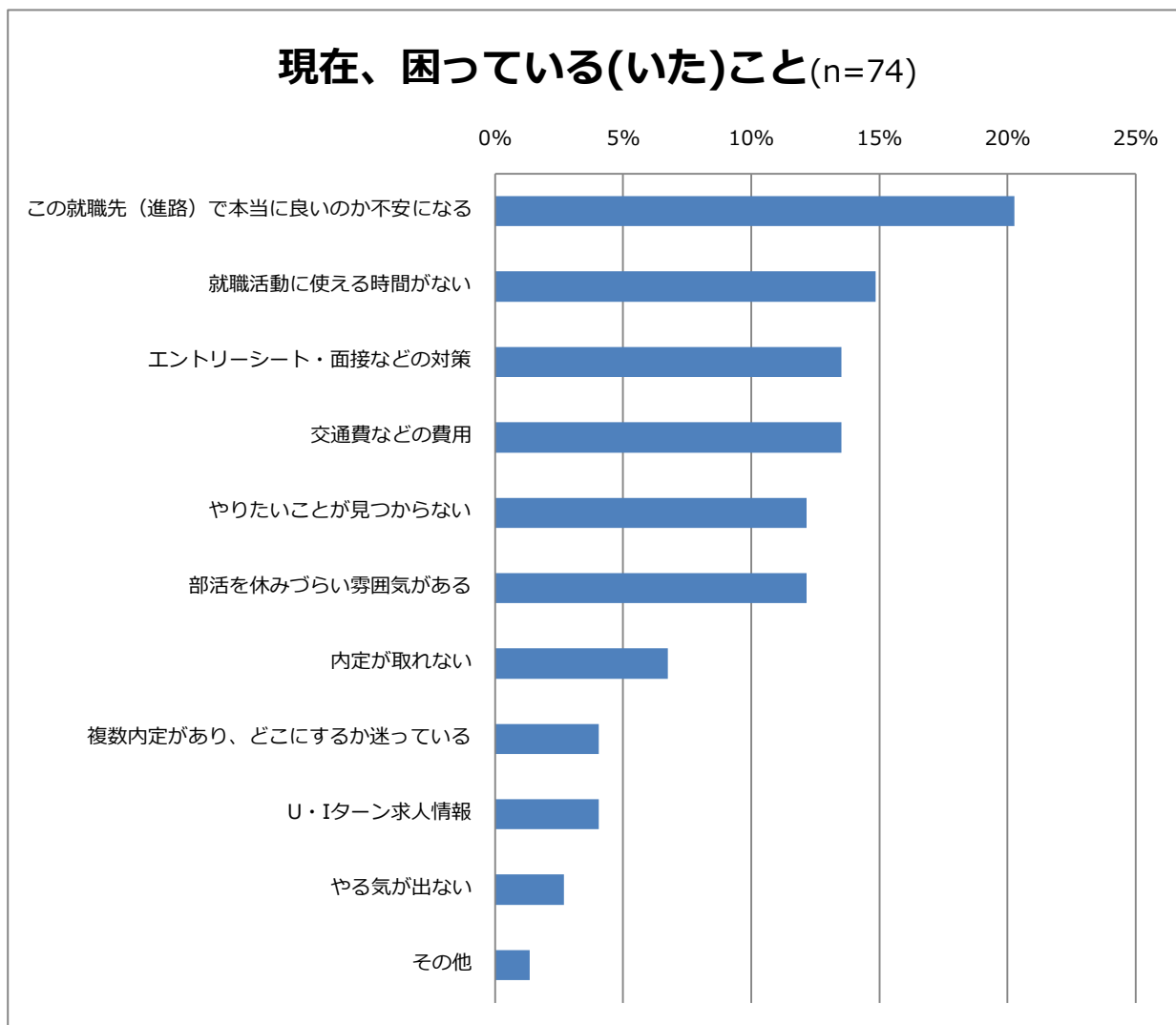
4.就職活動を終えたい時期は、学生によって異なる結果に

いつ頃までに就職活動を終えたいかという設問については、様々な回答が集まる結果となりました。「内定が取れ次第すぐにでも」が19.5%、「今から1ヶ月以内」が31.7%とやや高めになった一方、「納得できる就職先が見つかるまで」も19.5%となり、スピードを重視する学生と納得度を大切にしている学生が混在していることが読み取れます。



5.現在、困っていることは「この就職先で本当に良いのか不安」が20.3%でトップ

現在、困っていることのトップは「この就職先(進路)で本当に良いのか不安になる」となりました。内定保持学生の多くは他の企業を見る時間的余裕がなく、この悩みを抱えていると考えられます。また「エントリーシート・面接などの対策」、「やりたいことが見つからない」といった就活ノウハウに関する回答に加え、「交通費などの費用」、「就職活動に使える時間がない」、「部活を休みづらい雰囲気がある」など、環境面での課題もあるようです。



▼「その他」の詳細

- ・教員志望であるので、非常勤の登録が遅く、もし非常勤講師の話も来なかった時にどうすれば良いか不安になる。

弊社は引き続き、限られた時間を有効に使い、効率的に就職活動ができるようサポートすることを通して、体育会学生が部活動に専念できる環境づくりを進めてまいります。

以上